

【表紙】

【提出書類】 半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の5第5項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2025年6月16日

【中間会計期間】 第34期中(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

【会社名】 株式会社日本能率協会マネジメントセンター

【英訳名】 JMA Management Center Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 張 士洛

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋二丁目7番1号

【電話番号】 03(6362)4800

【事務連絡者氏名】 取締役 橋村 明彦

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋二丁目7番1号

【電話番号】 03(6362)4800

【事務連絡者氏名】 取締役 橋村 明彦

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

1 【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2025年2月13日に提出いたしました第34期中（自 2024年7月1日 至 2024年12月31日）半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 中間連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

(訂正前)

<省略>

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。以下におけるセグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

<学びのデザイン事業>

〔人材育成サービス等〕

組織学習型サービス（研修ならびにアセスメント）について、人材育成需要の拡大を受け受注件数の増加、1案件あたりの大型化が進み好調に推移いたしました。個人学習型サービス（通信教育ならびにeラーニング）について、通信教育の販売が前年を下回りましたが、eラーニングの販売は前年と同水準に推移いたしました。交流型サービス（公開セミナー、越境学習、官公庁）について、官公庁は前年の大型受注案件が完了したため低調に推移いたしました。この結果、人材育成サービス等の売上高は、前年同期を上回りました。

〔書籍〕

資格・検定試験関連書の販売は堅調に推移したものの、新刊本の販売が低調に推移し、書籍の売上高は前年同期を下回りました。

この結果、学びのデザイン事業の当中間連結会計期間の売上高は5,265,827千円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は1,433,738千円（前年同期比6.5%増）となりました。

<時間<とき>デザイン事業>

〔手帳関連商品〕

一般消費者向け手帳関連商品について、2025年1月始まり手帳・カレンダーの販売は、カレンダーが好調に推移しました。一方で、消費者の購買時期が遅くなる傾向や書店の閉店が相次ぎ、売上高は前年同期を下回りました。

法人向け手帳について、既存顧客の受注は堅調に推移したものの、一案件あたりの数量が減少傾向にあり売上高は前年同期をわずかに下回りました。

この結果、時間<とき>デザイン事業の当中間連結会計期間の売上高は5,390,513千円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は858,490千円（前年同期比6.6%減）となりました。

<省略>

(訂正後)

<省略>

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。以下におけるセグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

<学びのデザイン事業>

〔人材育成サービス等〕

組織学習型サービス（研修ならびにアセスメント）について、人材育成需要の拡大を受け受注件数の増加、1案件あたりの大型化が進み好調に推移いたしました。個人学習型サービス（通信教育ならびにeラーニング）について、通信教育の販売が前年を下回りましたが、eラーニングの販売は前年と同水準に推移いたしました。交流型サービス（公開セミナー、越境学習、官公庁）について、官公庁は前年の大型受注案件が完了したため低調に推移いたしました。この結果、人材育成サービス等の売上高は、前年同期を上回りました。

〔書籍〕

資格・検定試験関連書の販売は堅調に推移したものの、新刊本の販売が低調に推移し、書籍の売上高は前年同期を下回りました。

この結果、学びのデザイン事業の当中間連結会計期間の売上高は5,265,827千円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は1,209,506千円(前年同期比10.1%減)となりました。

<時間<とき>デザイン事業>

〔手帳関連商品〕

一般消費者向け手帳関連商品について、2025年1月始まり手帳・カレンダーの販売は、カレンダーが好調に推移しました。一方で、消費者の購買時期が遅くなる傾向や書店の閉店が相次ぎ、売上高は前年同期を下回りました。

法人向け手帳について、既存顧客の受注は堅調に推移したものの、一案件あたりの数量が減少傾向にあり売上高は前年同期をわずかに下回りました。

この結果、時間<とき>デザイン事業の当中間連結会計期間の売上高は5,390,513千円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は830,118千円（前年同期比9.7%減）となりました。

<省略>

第4 【経理の状況】

1 【中間連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(訂正前)

前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 中間連結財務 諸表計上額 (注2) |
|-----------------------|---------------|------------------|------------|-------------|-------------------------|
| | 学びの デザイン事業 | 時間<とき> デザイン事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 一時点で移転される財及びサービス | 3,025,370 | 5,449,235 | 8,474,605 | - | 8,474,605 |
| 一定の期間にわたり移転される財及びサービス | 2,078,503 | - | 2,078,503 | - | 2,078,503 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,103,873 | 5,449,235 | 10,553,109 | - | 10,553,109 |
| 外部顧客への売上高 | 5,103,873 | 5,449,235 | 10,553,109 | - | 10,553,109 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 5,103,873 | 5,449,235 | 10,553,109 | - | 10,553,109 |
| セグメント利益 | 1,345,843 | 918,988 | 2,264,832 | 886,306 | 1,378,526 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 886,306千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 中間連結財務 諸表計上額 (注2) |
|-----------------------|---------------|------------------|------------|-------------|-------------------------|
| | 学びの デザイン事業 | 時間<とき> デザイン事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 一時点で移転される財及びサービス | 3,311,850 | 5,390,513 | 8,702,363 | - | 8,702,363 |
| 一定の期間にわたり移転される財及びサービス | 1,953,977 | - | 1,953,977 | - | 1,953,977 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,265,827 | 5,390,513 | 10,656,341 | - | 10,656,341 |
| 外部顧客への売上高 | 5,265,827 | 5,390,513 | 10,656,341 | - | 10,656,341 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 5,265,827 | 5,390,513 | 10,656,341 | - | 10,656,341 |
| セグメント利益 | 1,433,738 | 858,490 | 2,292,229 | 1,184,282 | 1,107,946 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 1,184,282千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 中間連結財務 諸表計上額 (注2) |
|-----------------------|---------------|------------------|------------|-------------|-------------------------|
| | 学びの デザイン事業 | 時間<とき> デザイン事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 一時点で移転される財及びサービス | 3,025,370 | 5,449,235 | 8,474,605 | - | 8,474,605 |
| 一定の期間にわたり移転される財及びサービス | 2,078,503 | - | 2,078,503 | - | 2,078,503 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,103,873 | 5,449,235 | 10,553,109 | - | 10,553,109 |
| 外部顧客への売上高 | 5,103,873 | 5,449,235 | 10,553,109 | - | 10,553,109 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 5,103,873 | 5,449,235 | 10,553,109 | - | 10,553,109 |
| セグメント利益 | 1,345,843 | 918,988 | 2,264,832 | 886,306 | 1,378,526 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 886,306千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 中間連結財務 諸表計上額 (注2) |
|-----------------------|---------------|------------------|------------|-------------|-------------------------|
| | 学びの デザイン事業 | 時間<とき> デザイン事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 一時点で移転される財及びサービス | 3,311,850 | 5,390,513 | 8,702,363 | - | 8,702,363 |
| 一定の期間にわたり移転される財及びサービス | 1,953,977 | - | 1,953,977 | - | 1,953,977 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,265,827 | 5,390,513 | 10,656,341 | - | 10,656,341 |
| 外部顧客への売上高 | 5,265,827 | 5,390,513 | 10,656,341 | - | 10,656,341 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 5,265,827 | 5,390,513 | 10,656,341 | - | 10,656,341 |
| セグメント利益 | 1,209,506 | 830,118 | 2,039,625 | 931,678 | 1,107,946 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 931,678千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。